

みなさんこんにちは。党北部地区委員会の大名美恵子でございます。日ごろからのご支援とご協力に心から感謝を申し上げます。

そして、今日は、大変お忙しい中、また連日の酷暑の中、演説会においでくださいますとありがとうございます。最後までごゆっくりお聞きいただければと思っております。

今日のメイン弁士は、塩川てつや衆議院議員です。塩川さんには、東日本大震災の直後から北部地区内にも直接調査に来ていただき、国政とつないで復旧支援に尽力いただきました。そしてもう一人の弁士は、来るべき総選挙で茨城4区から立候補を予定しております宇野周治茨城4区党国政対策委員長です。自民党の現職梶山弘志衆議院議員のお膝元常陸太田市から、多くの期待を担って出馬を予定しています。

日本共産党は、次期衆議院選挙で、北関東ブロックでは、現職の塩川てつや衆議院議員、新人の梅村さえ子党国民運動委員会委員を比例候補に、小選挙区茨城4区に宇野周治さん、5区に福田明党茨城北部地区委員長、現在北茨城市議の擁立を決めています。民意がしっかり反映できる国政めざし、比例での確実な2議席確保と、小選挙区での大躍進めざし全力をつくします。国民の声が届く国政への転換を、みなさんと力あわせて何としてもやり遂げる決意です。ご支援をどうぞ宜しくお願い致します。

さて、今年の東日本大震災から1年半がたちました。私たちの暮らしは少しでも良くなったでしょうか。道路や公共施設などの復旧は一定進められてきました。しかし、民主党を中心とし、自民・公明が一緒になってすすめる今の政府のあり方は、国民の安全・安心なくらしと、健康で心豊かに生きる展望をまったく見出そうとしません。本来なら、長期になっている避難生活の解消や、確実な防災計画、放射能汚染対策、二度と原発事故を繰り返さないためにエネルギー政策の転換など、大震災の教訓に学んで国民のいのちと暮らし、安全の確保を最優先に行わなければなりません。それどころか、税と社会保障の一体改悪、TPP交渉参加で農業や医療などの崩壊、アメリカ言いなりの基地強化と危険なオスプレイの配備、等々、生きることにいっそうの打撃をあたえる路線を進めています。常陸太田市では中学2年の男子生徒が自殺をするという痛ましい事件がおきてしまいました。命を大切にする政治が行われなければ、命を大切にする生き方を成長期の子どもたちに伝えることは大変困難です。

消費税増税反対の世論は今、56.1%と高くなっています。2014年4月からの増税実施を強引に決めた民主・自民・公明の3党ですが、実施までには必ず衆参の選挙が行われます。

増税を阻止し、いのち、くらし、安全を守る国政への転換のために、次期国政選挙で、どうぞ日本共産党を大きく躍進させてください。ご一緒に政治を変えましょう。主催者を代表してのあいさつといたします。